

ゴルフ記者50年 甲斐誠三の

# プロゴルフ今昔物語

今週からは、デイリースポーツなどでゴルフ記者として50年間、プロゴルフ界を見続けてきた甲斐誠三氏(82)が、豊富な人脈と取材メモからとっておきの裏話を披露します。第1回は特に親交の深かった故杉原輝雄プロ編です。

## 杉原輝雄編①

### 意外にしゃべる

杉原にプロになった動機を聞いたことがあ  
る。「そりゃ、お金の  
ためやがな」。大阪・  
茨木市の農家で生まれ  
た杉原は小さい時から

家計が苦しいことをよく  
知っていた。小学生の時  
に茨木カントリー倶楽部  
でアルバイトをしてい

て、プロになれば、1カ  
月に3万円も稼ぐことが  
できると聞いていた。「よ

杉原家ではデイリース  
ポーツを宅配で取ってい

# 1カ月3万円で決心「お金のため」プロに

その間も杉原は本業  
のプロトーナメントで

茨木カントリーのクラ  
ブハウスへと上がってい  
く小道の左側に広大な練  
習場がある。20歳でプロ  
入りした杉原は早朝から  
深夜まで倶楽部が許す限  
りボールを打っていた。  
後輩の宮本直三がいつも  
一緒に、お互いにけん制



日本オープンで初優勝を果たした杉原輝雄＝1962年9月、千葉カントリークラブ

たので、時折、紙面の  
企画にも登場してもら  
った。普段の杉原は美  
に寡黙で必要なこと  
以外は何もしゃべらな  
い。もちろん、こちら  
の質問にはきちんと答  
えてくれるのだが。  
ある日、サンテレビ  
の番組が一つあるだけ  
だった。私は「ちゃんと  
しゃべるかな」と思い  
ながらも「杉原に話し  
てみよう」と答えた。  
当時、関西の実力派若  
手プロとして人気は抜  
群だったからである。  
1970年代に入っ  
てから、杉原の番組は  
大ヒットした。こちら  
の心配をよそに、丁寧  
にレッスンし、よくし  
ゃべるので、番組に登  
場したアマチュアゴル  
ファーたちの評判も良  
く、視聴率も上がった。  
人気者俳優の藤田まこ  
とともに競演し、話題を  
呼んだ。  
その間も杉原は本業  
のプロトーナメントで

WHOWHO

杉原輝雄(すぎはら・  
てるお)1937年6月  
14日、大阪府茨木市出身。  
1957年にプロ入り  
し、通算63勝(海外1勝。  
シニア8勝を含む)を挙  
げる。2011年11月28  
日に前立腺がんのため死  
去。

甲斐誠三(かい・せい  
ぞう)1933年、大阪  
市出身。早大文学部卒。  
1965年からデイリー  
スポーツでゴルフ記者を  
務め、1998年の退職  
後はフリーの記者、日本  
ゴルフジャーナリスト協  
会副会長を経て、現在は  
同協会顧問。関西運動記  
者クラブ会友。